

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年11月

応募者名：東京都建設局

事業の名称：中央環状品川線整備事業

実施都市名：東京都

事業目的

本事業は、首都高速中央環状線の大橋から大井までの区間を整備するもので、これにより、中央環状線が完成します。

中央環状線は、東京外かく環状道路、首都圏中央連絡自動車道と共に首都圏三環状道路の1つです。三環状道路の整備は、東京に流入する多くの通過交通を分散させ、都内の交通渋滞の解消、人と物の流れの円滑化、さらには日本経済の活性化に寄与する事業です。今回の品川線の整備により、中央環状線は、三環状道路で最初のリング全線開通となります。

事業概要

事業名称：東京都市計画道路

都市高速道路中央環状品川線整備事業

路線名：首都高速中央環状品川線

事業箇所：品川区八潮三丁目～目黒区青葉台四丁目

事業延長：約9.4 km

幅員：12.3 m（大井行きシールド内径）

事業費：約1,400億円

事業実施期間：平成18年度～平成26年度

本事業は、首都高速中央環状線のうち、湾岸線の大井ジャンクションから分岐し、大橋ジャンクションに至る区間（品川線）の整備です。本事業により、中央環状線は首都圏三環状道路で初めてのリング全線開通となり、渋滞の解消、物流の円滑化、経済活性化に寄与します。

また、本事業では、早期完成を目指し、首都高速道路（株）との合併施行方式を採用しています。都では、大井行きシールドトンネル、大井ジャンクションおよび4つの換気所等の整備と用地取得を実施しました。

事業位置図



全体図（平面図・側面図・横断図）

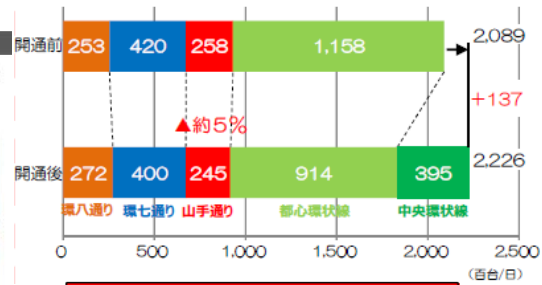


品川線の整備効果アピール資料

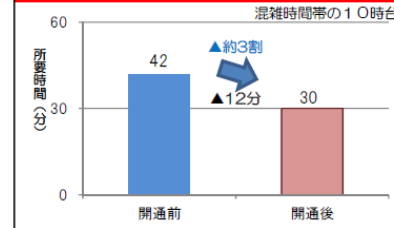
【一般道路の混雑が緩和】



【南側断面（国道15号との交差点部）】

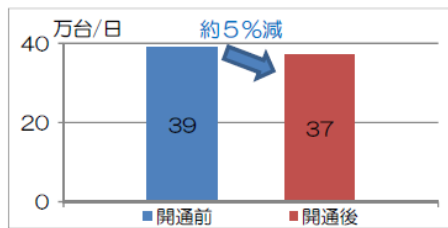


山手通り（環6）
（天王洲アイランド交差点～初台交差点）

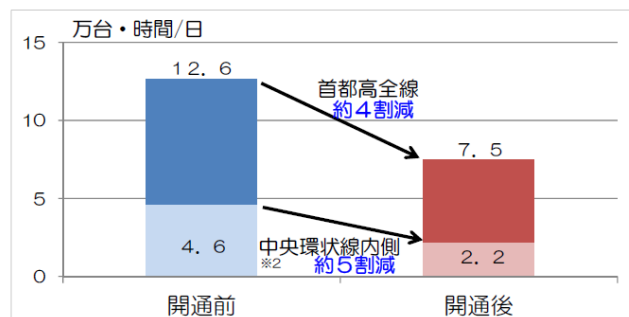


【首都高速道路の混雑が緩和】

都心環状線利用交通量の変化



渋滞損失時間※1の変化



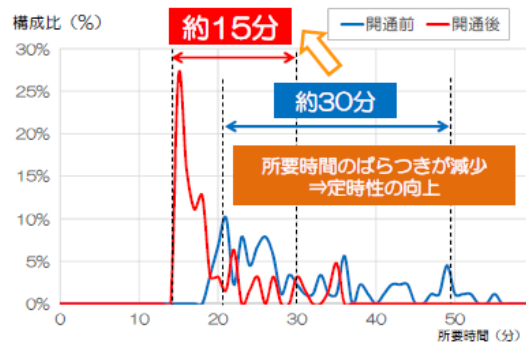
※1：渋滞損失時間
全交通量を対象とした、規制速度走行時の所要時間に
対して生じる遅れ時間で表される渋滞の規模
（所要時間（時間）-規制速度走行時の所要時間（時間））×交通量（台）
※2：中央環状線内側
中央環状線及び湾岸線を含まない

＜使用データ＞ 車載感知器による平日平均データ
開通前：平成26年3月10日（月）～平成26年4月7日（月）
開通後：平成27年3月10日（火）～平成27年4月7日（火）

【混雑緩和に伴う定時性の向上】



新宿から羽田空港までの所要時間のばらつきの変化
（ETC2.0プローブ情報を用いた分析）



＜使用データ＞
ITSスポットにより収集されたETC2.0車載器のプローブデータ
（データ提供：国土交通省国土技術政策総合研究所）
開通前：平成27年3月2日（月）～6日（金）平均
開通後：平成27年3月9日（月）～13日（金）平均

事業前写真

平成19年 4月撮影



平成21年12月撮影



平成20年 4月撮影



事業後写真

平成27年 3月撮影



大井地区

大井行きシールド



大井ジャンクション

平成27年 3月撮影

平成27年 3月撮影



五反田換気所



中目黒換気所

